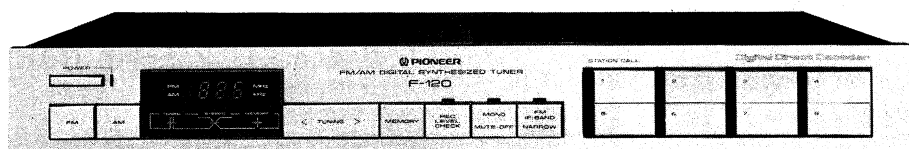
取扱説明書

Digital Direct Decoder

FM/AMデジタルシンセサイザーチューナー

F-120

このたびは，FM/AMデジタルシンセサイザーチューナーF-120をお買いもとめいただきまして，まことにありがとうございます．
本機の機能を十分に効果的にご利用いただくために，この取扱説明書を最後までよくお読みください．お読みになった後は「保証書」「サービスネットワーク」とともに保管してください．
使用中にわからないことがあったり，不具合が生じたときに，お役立てください．

PIONEER®

目　次

特　長

Digital Direct Decoder(デジタル ダイレクト デコーダ)の採用

チューナーの復調回路は，その音質，基本性能を決定的に左右する重要な部分です．F-120ではこのいわば心臓部に当る回路に，パルス技術とアナログ技術を駆使して，FM信号をダイレクトにステレオ復調する**デジタルダイレクトデコーダ**を開発しました．この全く新しいシステムにより，セパレーション，ひずみ，S/N等の音質性能において驚異的な値を実現しました．また妨害排除能力も飛躍的に向上し，非常にクリーンな受信を可能にしました．

スリムで精密感のあるFM/AMステレオチューナー

頻繁に使う選局スイッチを右側にまとめ，左側には動作状態が一目でわかる表示部を配置しました．また，スイッチの形状を大きくして操作部を向上させ，これらをスリムに精密感のあるデザインにまとめあげました．

便利なプリセット機能

1度選局スイッチにメモリーしたら，毎回チューニングスイッチを使って選局をする面倒な操作から解放されます．

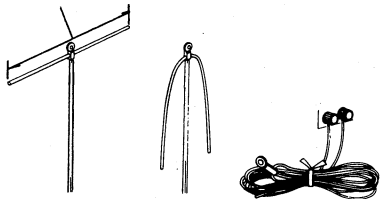
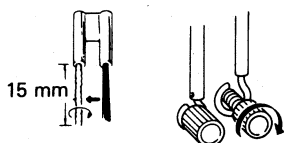
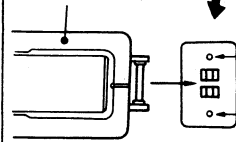
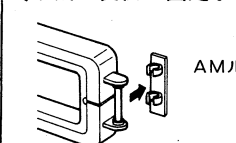
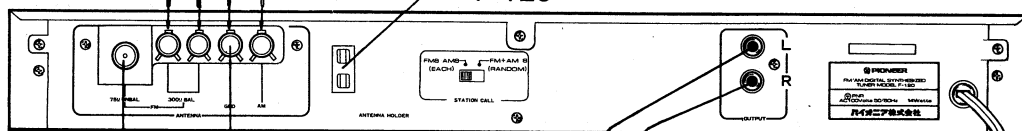
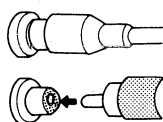
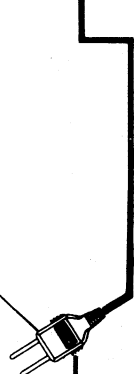
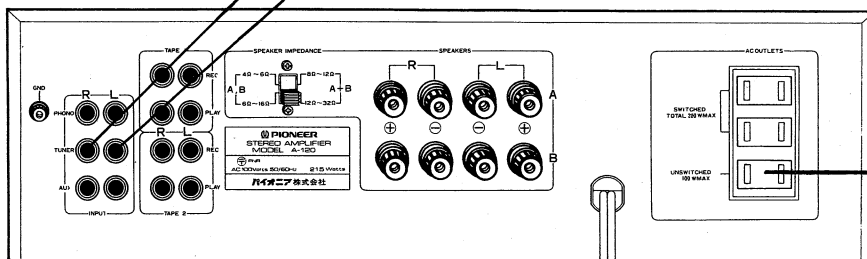
本機には便利なプリセット機能が二種類用意されています．操作性が非常に優れたランダム8局（FMまたはAMのいずれか合計8局）型と，将来FM放送が多局化時代を迎えたときでも対応できるイーチ(FM 8局とAM 8局で合計16局)型があります．

広帯域(WIDE(ワイド))／狭帯域(NARROW(ナロー))受信方式のIF帯域幅切り換え

低ひずみで音質を重視した再生音が得られる広帯域受信方式と，近接した放送局の影響で混信が起こるときに妨害電波を排除し，混信のない受信を行う狭帯域受信方式の切り換えができます．

FM放送録音用の基準信号発振器を内蔵

録音レベルチェックスイッチ(REC LEVEL CHECK)をONにすると，FM放送録音用の基準信号が出ます(周波数:約330Hz，レベル:FM50%変調)．この基準信号でテープデッキの録音レベルを設定することにより，最適な録音状態を容易に得ることができます．

接続一覧図

アンテナアース

接続しなくても放送は受信できますが雑音除去のためなるべくつないでください．

☞ガス管には絶対に接続しないでください．ガスに引火することがあり危険です．

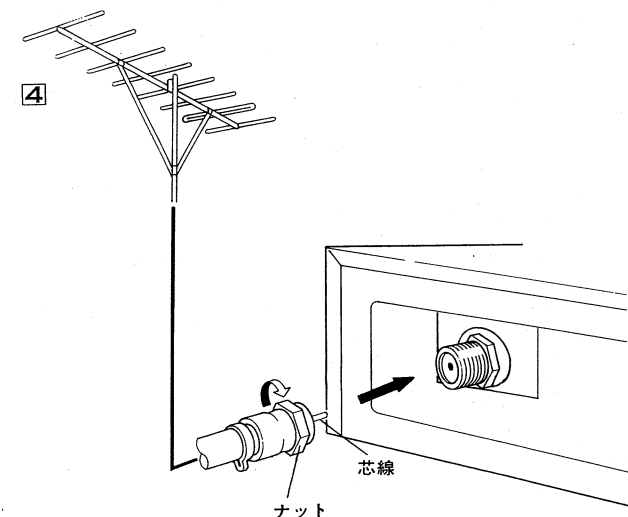
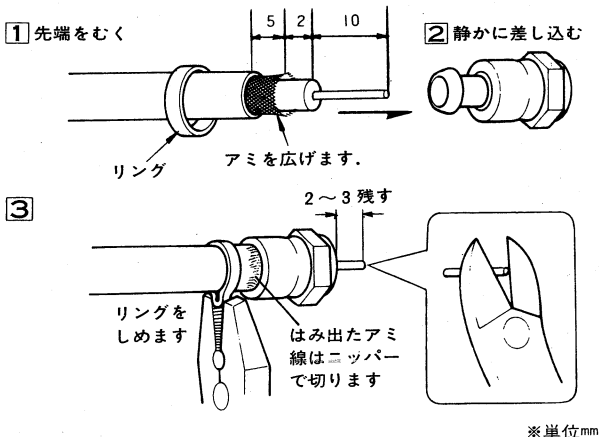
アンテナの接続について

FM放送は，アンテナを接続しなければ受信できませんので，必ずアンテナを接続してください．
FM専用アンテナをアンテナ入力端子に接続するには300Ω平行フィーダーと75Ω同軸ケーブルを使う方法があります．
平行フィーダーは外来からの妨害雑音に対して弱く，影響を受けやすいので妨害雑音に対して強い同軸ケーブルによる接続をおすすめします．

同軸ケーブルを使った接続

同軸ケーブルによる接続は，付属のＦ型接栓プラグを使って，図のようにします．
付属のF型接栓プラグは３C-２Vの同軸ケーブル用です．
５C-２Vや７C-２Vの同軸ケーブルを使用するときは，別売の専用プラグが必要ですのでお買上げになった販売店または当社サービスステーションにご相談ください．
接栓プラグの取り付けが終ったならば，同軸ケーブル用アンテナ入力端子（FM 75Ω UNBAL）に接続します．接続するときは芯線を曲げたり折ったりしないようご注意ください．

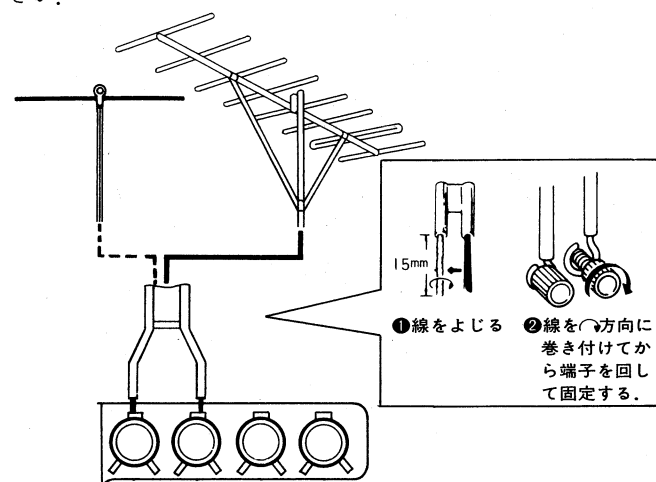
F型プラグを使う

※単位mm

●芯線が曲らないように差し込む．
●Ｆ型プラグのナットを時計方向(⌒)に回して固定する．

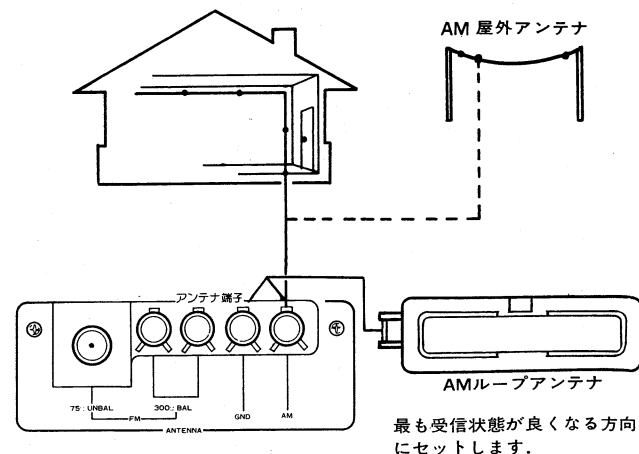
付属のT字型簡易アンテナを使った接続

このアンテナはFM電波の比較的強い地域でFM専用アンテナを設置するまでの期間，FM放送を手軽に受信していただくための簡易型アンテナです．
両辺をピーンとはり，金属物と接触しないように天井や壁の高いところに固定して接続します．このアンテナは妨害雑音に弱いので，最も受信状態がよくなるように方向を変えてください．

300Ω平行フィーダーを使った接続

平行フィーダーは図のように処理しアンテナ入力端子（300Ω-BAL）に接続します．フィーダーはできるだけ短かく，金属物に接触させず，束ねたり床にたるませておいたりしないでください．

☞アンテナの詳しい選びかたについては，**FMアンテナの選びかたについて**をご覧ください．

AM屋外アンテナについて

強電界地域では，付属のAMループアンテナで十分受信できます．周囲に電波の障害物が多い場合や放送局が遠く弱い電波を受信する場合は，AM用屋外アンテナを設置してください．
☞AM屋外アンテナをご使用になるときもAMループアンテナははずさないでください．

FMアンテナの選びかたについて

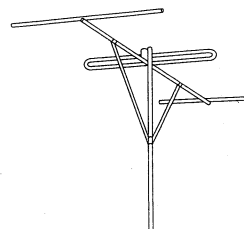
FM放送の特長はAM放送と比べて何といっても音質のよいことです．しかし，放送局からいくら音質の良い電波が送信されても，FM放送が使っている電波の特性上，その伝播経路，受信アンテナ，接続ケーブル，FMチューナーのどれか一つに不十分なところがあるとFM放送の特長は発揮されなくなってしまいます．FMアンテナは受信する場所の電界強度やマルチパスの有無または他の雑音源の有無などを考慮して適切なアンテナを適切な場所に設置しなければなりません．

マルチパスについて

マルチパスつまり多重伝搬とは，FM放送が使用している電波の性質上，直接アンテナに到達する電波のほかに，高層建築物や山などによって反射されて遅れてきた電波がアンテナに入って生じる現象をいいます．

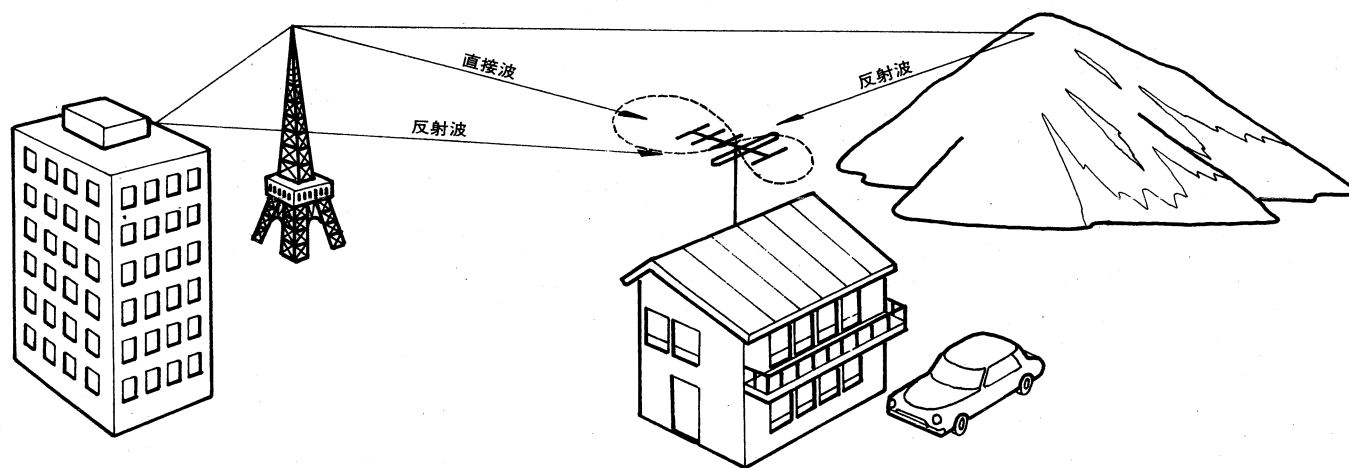
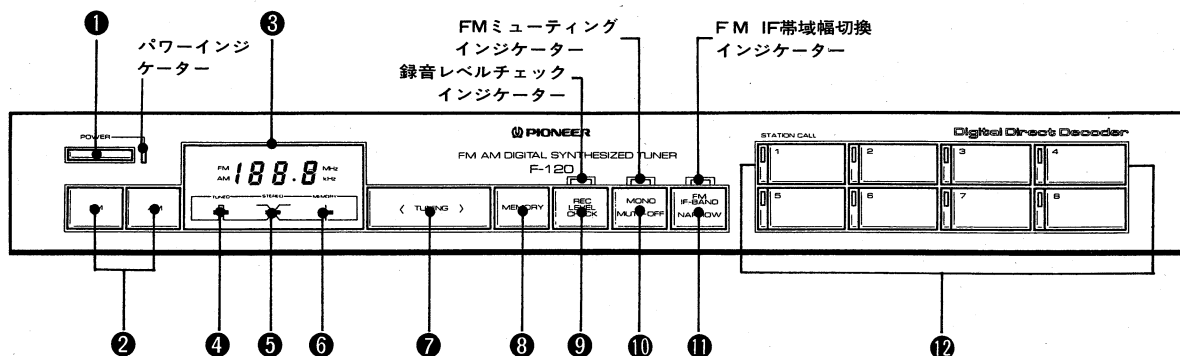
テレビに使用されている電波とFM放送に使用されている電波の性質はよく似ています．テレビでは，ゴースト現象（画面が2重，3重になったりカラーテレビの色ずれが起こる現象）として，すぐにわかりますので，多くの人がアンテナの設置に神経を使うようですが，FM放送の場合は，マルチパス妨害があっても，プログラムソースが悪いのか，マルチパスが原因なのか判断がつきにくいようです．

あらゆる方向から反射してくる有害なマルチパスによる電波を取り除いて，クリアな受信をするようなアンテナをご使用ください(図１)．

電波が比較的強く，マルチパスによる有害雑音がある場所では利得は少ないのですが指向性のすぐれたアンテナをお選びください．八木型アンテナをお使いになるときは，２～３素子程度のものをお選びください．(図２)

（図２）

電波が弱い地域では，アンテナの利得(ゲイン)が高いものをお選びください．八木型アンテナ(図2)ですと，素子が増えるほどアンテナの利得(ゲイン)も増えます．放送局から遠く受信が困難な地域や，山の陰など電波の弱い地域では，５素子以上のFM専用アンテナをお使いください．

☞詳しくは販売店にご相談ください．

（図１）

各部の名称と使い方

❶電源スイッチ(POWER)

このスイッチを押すと電源が入ります．パワー(POWER)インジケータが点灯します．

❷バンド切換えスイッチ

FM：FM放送を受信するとき押します．
AM：AM放送を受信するとき押します．

❸周波数表示部

受信している放送局の周波数を表示します．
FMのときはMHz，AMのときはkHzで表示します．

❹チューニングインジケーター(TUNED)

放送を受信するとこのインジケーターが点灯します．チューニングスイッチを操作してこのインジケーターを点灯させます．

❺ステレオインジケーター(STEREO)

FMステレオ放送を受信すると，このインジケーターが点灯します．

❻メモリーインジケーター(MEMORY)

メモリースイッチを押すとこのインジケーターが点灯します．このインジケーターが点灯しているあいだ選局スイッチにメモリーできます．
詳しくは，**メモリーの詳しい使いかた**をご覧ください．

❼チューニングスイッチ(TUNING)

放送局を選局するときに使います．"<" の部分を押すと現在表示している周波数よりは低くなり，">" の部分を押すと高くなります．一回押すごとに，FMでは0.1MHz，AMでは9 kHzずつ変化します．また，押し続けると周波数が連続して変化します．

❽メモリースイッチ(MEMORY)

放送局をメモリーするときに，このスイッチを押します．1度選局スイッチにメモリーしたら，選局スイッチを押すだけで希望の放送局が受信できます．毎回チューニングスイッチを使って放送局を選局する必要はありません．

❾録音レベルチェックスイッチ (REC LEVEL CHECK)

FM放送をテープに録音するとき，そのレベルが適当かどうかをチェックするときに押します．
このスイッチを押して**ON**(録音レベルチェックインジケーター点灯)にすると FM放送録音用基準レベル信号(周波数：約330 Hz，レベル：FM 50%変調相当)がOUTPUT端子から出ます．テープデッキを録音状態にして，レベルコントロールを調整します．レベルメーターの指示がカセットデッキの場合は，－2dB位を指示するようにします．なお，録音レベルのチェックが終ったら，必ずこのスイッチを押して**OFF**(録音レベルチェックインジケーター消灯）にしてください．このスイッチが**ON**のままですと，スピーカーから"ピー"という音しか出ず，放送の受信ができません．

⑩FMミューティングオフスイッチ (MONO, MUTE-OFF)

ミューティング回路は，同調点から外れると発生するFM特有の局間ノイズを除去するためにありますが，遠い放送局や電波の弱い地域などでは入力信号が弱く，ミューティング回路が働いて希望の放送局が受信できないことがあります．
このようなときは,スイッチを押して(OFF),希望の放送局を選局してください．このときは，ステレオ放送を受信してもモノ放送になります．通常はこのスイッチをON(FMミューティングインジケーター消灯）にしておきます．入力信号が弱い放送局を受信したいときのみ，ご使用ください．
なお，AM放送受信の時は，このスイッチは無関係です．

⑪FM IF帯域幅切換スイッチ(FM IF-BAND)

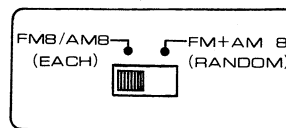
FM放送を受信するとき，中間周波数の信号の通過帯域を切り換えるものです．このスイッチを押すとNARROWの状態になり,上のインジケーターが点灯します.また,スイッチをもう1度押しますとWIDEの状態になって，インジケーターは消灯します．

NARROWとは： 希望の放送局を受信するとき，すぐ近くに他の放送局があると，混信して良質な受信ができなくなる場合があります．このようなときにNARROWにすると混信に対して有効な排除特性が得られます．

WIDEとは： 受信している放送局の近くに他の放送局がなく，しかも電波の強い地域では，WIDEにするとハイクォリティの音質で受信できます．

⑫選局スイッチ(STATION CALL)

1度選局スイッチにメモリーしたら，このスイッチを押すだけで希望の放送局が受信できます．放送局を受信するとき，毎回チューニングスイッチを使う必要はありません．

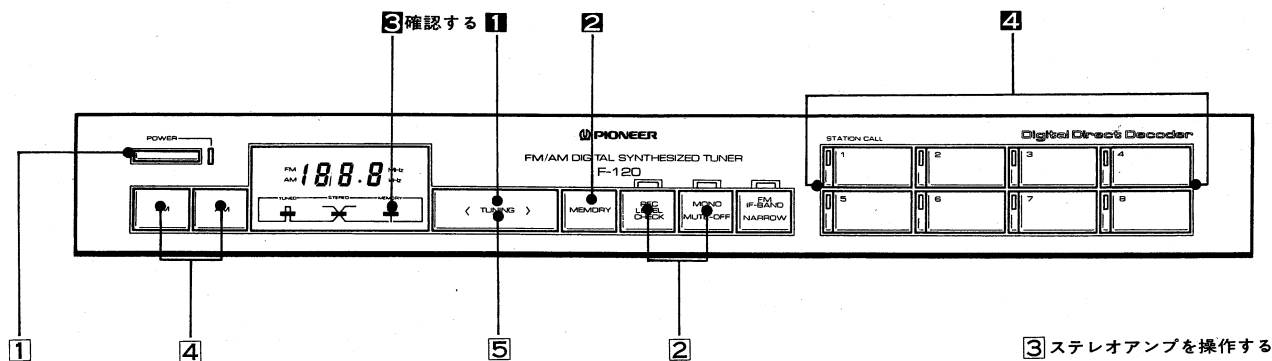
リアパネルのメモリー切換えスイッチについて

この切換えスイッチは，FM放送とAM放送をランダムに8局メモリーする方式(FM+AM8)とFM放送とAM放送をそれぞれ8局ずつメモリーする方式(FM8／AM8)を切換えるものです．

☞メモリー切換えスイッチの使用上の注意

- メモリー切換スイッチを切換えただけでは，前のメモリーは消去しません．
  たとえば，ランダム選局からイーチ選局に切換えて再びランダム選局に戻した場合はランダムのメモリーです．
- メモリースイッチを切換えてメモリーすると，前のメモリーは消去して最後にメモリーした状態になります．

後日のため記入しておくと便利です．
購入店名：　　　　　☎(　　－　　)
ご購入年月日：昭和　　年　　月　　日

放送の聞き方

番号順に操作してください

本機の電源をONにする前に，各端子がきちんと接続されているか，ステレオアンプが正しく接続されているかをお確めください．

チューニングスイッチによる放送の受信

1. 本機とステレオアンプの電源をONにします．
2. 録音レベルチェックスイッチとFMミューティングスイッチのインジケーターを消灯します．
3. ステレオアンプを操作してチューナーが再生できるようにします．
4. 希望の放送に合わせてバンド切換スイッチを押します．
5. チューニングスイッチで，希望の放送局の周波数に合わせます．1回押すとFMで0.1MHz，AMで9kHz変化します．また押し続けると連続して変化します．チューニングインジケーター（TUNED）が点灯するように同調をとります．
6. ステレオアンプで音量，音質を調整します．

選局スイッチによる受信

本機はメモリー機能を備えていますので，一度選局スイッチにメモリーしたら，その選局スイッチを押すだけで希望の放送局が受信できます．

メモリーのしかた

AM，FM局をランダムに8局メモリーする方法と，AM，FM局をそれぞれ8局ずつ（計16局）メモリーする方法があります．

1. チューニングスイッチにより希望の放送局を受信します．
2. メモリースイッチを押します．
3. メモリーインジケーターが約8秒間点灯します．
4. メモリーインジケーターが点灯しているうちに選局スイッチの1～8のいずれか1つを選んで押します．メモリーができますと，選局スイッチのインジケーターが点灯します．
5. メモリースイッチを押して，メモリーインジケーターが消灯した場合はメモリーはできません．もう一度メモリースイッチを押してください．
   詳しくは**メモリーの詳しい使い方**をご覧ください．
6. 他の選局スイッチを押し，次にメモリーした選局スイッチを押して正しくメモリーされていることを確認してください，周波数表示部に，さきほど合わせた放送局の周波数が表示されます．
7. メモリーした放送局名と選局スイッチのナンバーをメモしておくと便利です．12ページの**選局スイッチメモ**をご利用ください．

ご注意

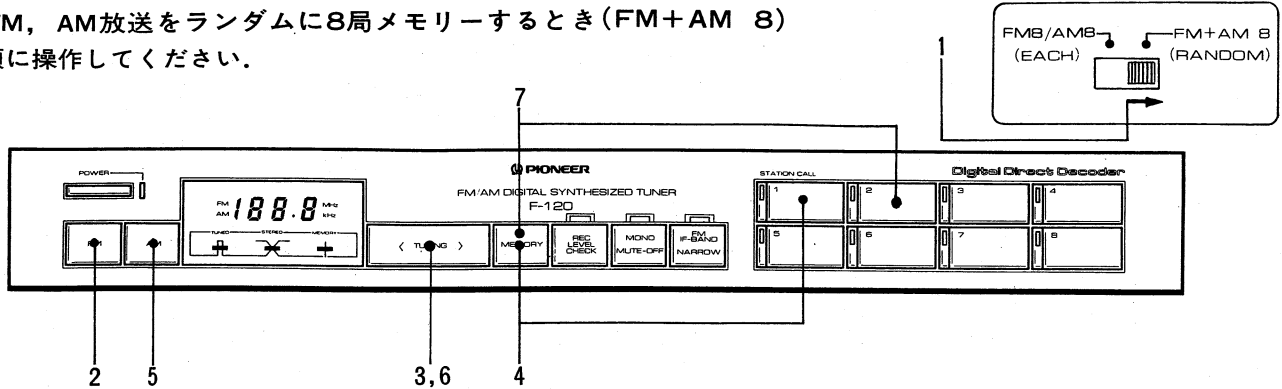
- メモリーした放送局は電源スイッチをOFFにしても電源コードを抜かないかぎり消去されません．
- 長時間使用しないときは電源コードを抜いてください．
  なお，メモリー回路はバックアップコンデンサにより電力を供給していますので3日程度でしたらメモリーした放送局は消去されません．
- メモリーが消えてしまったらもう一度メモリーしてください．

ラストワンメモリー機能について

- 電源が切れている状態から，電源スイッチ（POWER）を押すと電源をOFFにする前に聞いていた放送局を受信します．
- 電源が入っている状態で，バンド切換えスイッチを押しますと，バンドを切換える前に聞いていた放送局を受信します．

メモリーの詳しい使い方

1 FM，AM放送をランダムに8局メモリーするとき（FM＋AM 8）

番号順に操作してください．

お聞きになることの多い放送局をメモリーしておきます．選局スイッチを押すだけで，FMまたはAM放送も簡単な操作で聞くことができます．

例として，選局スイッチの“Ｉ”にFM放送のNHK東京（周波数82.5MHz）を，“２”にAM放送のNHK東京第一（周波数594 kHz）をメモリーします．

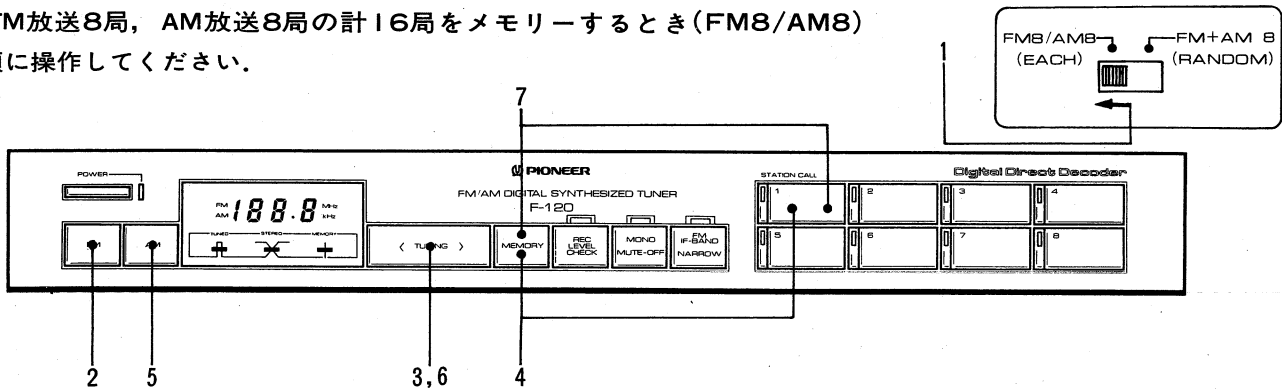
1．リアパネルのメモリー切換えスイッチをFM＋AM８に切換えます．
2．バンド切換えスイッチのFMを押します．
3．チューニングスイッチにより82.5MHzに合わせます．
4．メモリースイッチを押し，メモリーインジケーターが点灯している間に選局スイッチの“Ｉ”を押します．
5．次にバンド切換えスイッチのAMを押します．
6．チューニングスイッチで594kHzに合わせます．
7．メモリースイッチを押し，メモリーインジケーターが点灯している間に選局スイッチの“２”を押します．

上記のような方法でお好きな放送局を８局，選局スイッチにメモリーできます．

メモリーが終わったら

選局スイッチの“Ｉ”を押すとFM放送のNHK東京が受信でき；“２”を押すとAM放送のNHK第Ｉがダイレクトに受信できます．

2 FM放送8局，AM放送8局の計16局をメモリーするとき（FM8/AM8）

番号順に操作してください．

この場合は，FM放送８局とAM放送８局の計16局がメモリーできます．

例として，選局スイッチの“Ｉ”にFM放送のNHK東京（周波数82.5MHz）とAM放送のNHK第Ｉ（周波数594kHz）をメモリーします．

1．リアパネルのメモリー切換えスイッチをFM８／AM８に切換えます．
2．バンド切換えスイッチのFMを押します．
3．チューニングスイッチにより82.5MHzに合わせます．
4．メモリースイッチを押し，メモリーインジケーターが点灯している間に選局スイッチの“Ｉ”を押します．
5．次にバンド切換えスイッチのAMを押します．
6．チューニングスイッチで594kHzに合わせます．
7．メモリースイッチを押し，メモリーインジケーターが点灯している間に選局スイッチの“Ｉ”を押します．

以上のように一つの選局スイッチにFM放送局とAM放送局がメモリーでき，８つの選局スイッチにそれぞれメモリーします．

メモリーが終わったら

放送局のメモリーが終わりましたら，FM，AMのバンド切換えスイッチを切換えて，ご希望の選局スイッチを押すだけで受信できます．

故障？　ちょっと調べてください

故障かな？……と思ったらちょっとチェックしてみてください．意外な操作ミスが故障と思われています．チューナーに他の電気器具が悪影響を与えている場合もあります．下記の項目をチェックしても直らない場合には，11ページの項に従い，お近くのパイオニアサービスセンター，サービスステーションにご連絡ください．

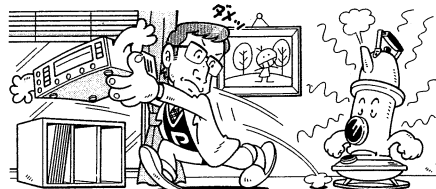
症　状	考えられる原因	処　置	参照ページ
電源が入らない （電源スイッチをONにしても電源が入らない）	●電源プラグが外れている	●電源プラグをコンセントへ差し込む	3
音が出ない	●出力コードの接続がまちがっている，または外れている	●確実にアンプのTUNER端子へ差し込む	3
	●アンテナが接続されていない，または外れている	●確実にアンテナをつなぐ	3または4
	●電源コードを3日以上抜いていた（放送局の記憶が消去）	●放送局を記憶しなおす	8，9
雑音が多い （「ジー」，「ザーザー」という雑音が多い） 音がひずむ	●放送局の周波数に合っていない	●チューニングスイッチで正しい周波数にする	6
	●アンテナが接続されていない，または外れている	●確実にアンテナをつなぐ	3または4
	FMの場合 ●付属の簡易アンテナをたばねたままになっているまたはアンテナの向きが悪い	●両端をピンとはり良くきこえる方向に向けて固定する	3または4
	●放送局の電波が弱い	●FMミューティングスイッチをOFFにする（このときはモノ再生となる）	7
		●付属の簡易アンテナをFM専用の外部アンテナに交換する	4または5
	●他の機器の雑音が入る（特に自動車が通ると雑音が出る）またはマルチパスが発生している （マルチパスとは：放送局の電波がアンテナに直接入るものと，山や高い建物に反射して入るものがお互いに影響し合い，音がひずんだり，雑音が出る現象です）	●アンテナの取付位置を変えてみる．また，外部アンテナを使用しているときはアンテナの設置場所を道路から離したり，接続ケーブルを75Ωの同軸ケーブルに変える	5
	AMの場合 ●付属のAMループアンテナの向きが悪い	●アンテナの方向を変えて，良くきこえる位置にする	3
	●放送局の電波が弱い	●AM外部アンテナを設置し，接続する．またアース線をつなぐ	3または4
	●他の機器（けい光灯やモーターを使っている電気製品など）の雑音が入る	●雑音を発生させる機器の使用をやめるまたは遠ざける	—
ステレオにならない （FMステレオ放送なのにステレオにならない）	●FMミューティングスイッチがOFFになっている（上部のインジケーター点灯）	●スイッチを押して上部のインジケーターを消灯する（FMミューティングスイッチON）	7

ステレオ機器の正しい使い方

ステレオ機器を安全に誤まりなくお使いいただくために必ずお読みください．

設置について

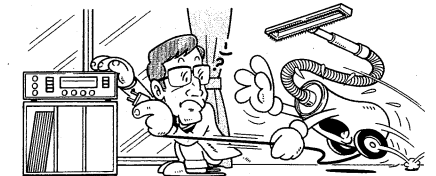
高温・多湿を避けて，風通しのよい場所へ

直射日光のあたる所やストーブなどの暖房器具のそばに置かないでください．キャビネットや内部部品に悪影響を与えます．また，湿気やホコリの多い場所へ置くと，故障や事故の原因になります．(また調理台のそばなど，油煙，蒸気，熱が当る場所も避けてください．)

国内でのみご使用ください

本機は日本国内専用仕様です．使用電源は，交流（AC）100Ｖです．大型クーラー用などの200Ｖコンセントには接続しないでください．発火を起こすなど大変危険です．また船舶などの直流（DC）電源にも使用できません．

接続について

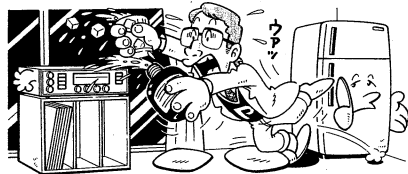
AC OUTLETについて

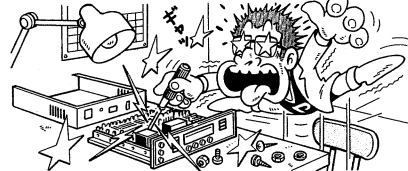
AC OUTLET(電源コンセント)を備えている機器では，他のステレオ機器の電源コードを接続できます．消費電力がパネルに表示された容量を越える電気機器は接続しないでください．機器の故障や火災の恐れがあります．
また，テレビなど電源が入ったときに大電流が流れる機器は，テレビを接続できる設計となっている機器以外には接続できません．

電源コード，プラグの取り扱い

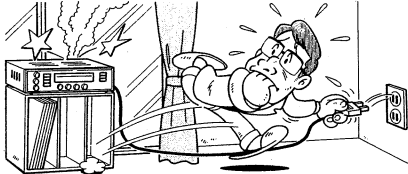
電源コードの抜き差しは，電源プラグを持って行ってください．コードを引っぱったり，ぬれた手で取り扱うと，ショートや感電の恐れがあります．
電源コードを本体や家具などの下に敷いたり物にはさんだりしないでください．また他のコードとつないで結び目を作ったり，往来の激しい場所に放置しないでください．コードを損傷させ，感電や火災の恐れがあります．

取扱上の注意

異物や水が入ったときは

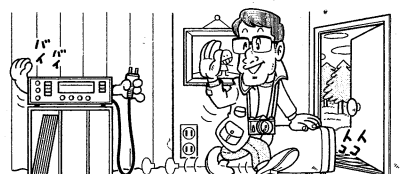
機器の通風孔や開口部などからヘアピンや釘，硬貨などの金属製のものや紙，マッチなどの燃えやすいものを差し込んだり落としたりしないでください．故障や火災，感電の恐れがあります．機器内に異物や水が入ったときは，パイオニアサービスセンター，サービスステーションまたはお買上げの販売店にご連絡の上，点検を受けてください．

内部点検や改造はおやめください

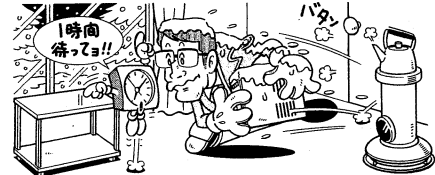
ステレオコンポーネントの内部には高電圧がかかっている所があります．キャビネットをあけて，内部点検や改造は感電の恐れがあります．お客様が改造を加えた場合の性能の劣化や故障については，パイオニアでは保証いたしません．

本機に異常が発生したときは

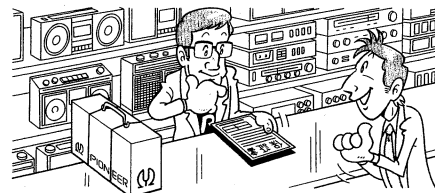
ご使用中に本機から異常な音やにおいがしたときは，すぐに電源スイッチを切り，使用を止めてください．必ず，電源コードをコンセントから抜き，パイオニアサービスセンター，サービスステーションまたはお買上げの販売店にご連絡の上，点検を受けてください．

キャビネットのお手入れ

キャビネットの清掃は，柔らかい布で空拭きしてください．汚れがひどい場合は中性洗剤を薄めた水に柔らかい布を浸しよく絞った後，汚れを拭きとり，その後乾いた布で拭いてください．キャビネットやパネル面にベンジン，シンナー，殺虫剤などの揮発性の薬品をかけると表面が侵されることがありますので使用しないでください．

長い期間，使用しないときは

旅行や外出などで留守にされる場合は，安全のために電源スイッチを切り，電源コードをコンセントから抜いてください．不慮の事故で火災を引き起す恐れがあります．

結露現象について

本機を冷えきった状態のまま暖い室内に持ち込んだり，急に室温を上げたりしますと，動作部に露が生じ(結露)，本機の性能を十分に発揮できなくなることがあります．このような場合には１時間程度放置するか，徐々に室温を上げてからご使用ください．

保証書について

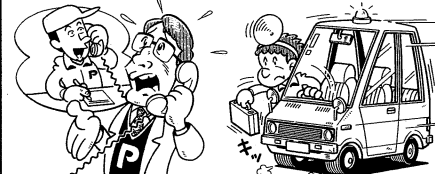
ご購入時には保証書にお買い上げ店の捺印，住所，購入年月日が記入されていることをお確めのうえ，大切に保管してください．保証書に所定事項が記入されていない場合や紛失したときは保証期間中であっても保証が無効となりますのでご注意ください．

アフターサービスについて

本機の保証期間はお買い上げ後１年間となっております．万一，故障が生じたときは，保証書に記載されている当社保証規定に基づき修理致します．お近くのパイオニアサービスセンター，サービスステーションにご連絡ください．保証期間内，期間経過後の修理についてはお近くのパイオニアサービスセンター，サービスステーションまたはお買い上げの販売店にご相談ください．ステレオの補修用性能部品の最低保有期間は製造打切後８年です．この期間は通商産業省の指導によるものです．性能部品とはその製品の機能を維持するために必要な部品です．

サービスに連絡する前に

故障かなと思ったら，「故障？　ちょっと調べてください」の項を見てもう一度セットの接続，操作にミスがないかを確認してください．なお，修理をご依頼のときは，次の事項を確認してお近くのパイオニアサービスセンター，サービスステーションにご連絡ください．

１．型名，型番
２．故障の内容
３．お買上年月日「○年○月○日」
４．お名前，住所，連絡先電話番号
５．ご希望訪問日時
６．ご自宅までの道順と目標〔建物，公園など〕

なお，本機に関するご質問，ご相談は最寄りのパイオニアオーディオインフォーメーションセンター（AIC）をご利用ください．AICの所在地，電話番号は付属のサービスネットワークをご覧ください．

仕 様

FMチューナー部

実用感度
　モノ;(NARROW) ······· 0.95μV.(75Ω) 新IHF10.8dBf

S/N 50dB感度
　モノ;(NARROW) ····· 1.8μV.(75Ω) 新IHF16.2dBf
　ステレオ;(NARROW) ···· 21.0μV.(75Ω) 新IHF37.7dBf

SN比(80dBf入力時) ························· モノ;96dB
ステレオ;88dB

高調波歪率 ··················· WIDE モノ;0.0095%(100Hz)
0.0095%(1kHz)
0.01%(10kHz)
ステレオ;0.015%(100Hz)
0.015%(1kHz)
0.05%(10kHz)
NARROW モノ; 0.09%(1kHz)
ステレオ; 0.5%(1kHz)

キャプチュアレシオ ························ WIDE 0.8dB
NARROW 2.5dB

実効選択度 ··························· WIDE 30dB(400kHz)
NARROW 60dB(300kHz)

ステレオセパレーション ············ WIDE 1kHz;65dB
20Hz～10kHz;50dB
NARROW 1kHz;40dB
20Hz～10kHz;40dB

周波数特性 ···························· 20Hz～15kHz;$^{+0.2}_{-0.8}$dB

イメージ妨害比 ··························· 80dB

IF妨害比 ··································· 100dB

スプリアス妨害比 ························ 90dB

AM抑圧比 ································· 70dB

サブキャリア抑圧比 ····················· 60dB

ミューティング動作レベル ··················· 5μV(25.2dBf)

アンテナ ························· 300Ω平衡型, 75Ω不平衡型

AMチューナー部

実用感度 ······························ ループアンテナ;55dBμ/m
外部アンテナ;15μV

選択度 ·· 30dB

SN比 ·· 50dB

イメージ妨害比 ···························· 40dB

IF妨害比 ···································· 65dB

出力部

出力端子(出力レベル/出力インピーダンス)
FM(100%変調) ······················ FIXED 650mV/900Ω
AM(30%変調) ······················ FIXED 150mV/900Ω

電源部・その他

電源電圧 ······························ AC 100V, 50/60Hz

消費電力(電気用品取締法) ···················· 14W

外形寸法(幅×高さ×奥行) ··········· 420×61×317mm

重量 ··· 4.0kg

付属品

FM T字型簡易アンテナ ······························ 1
AMループアンテナ ·································· 1
ループアンテナキャッチャー ························ 1
ピンプラグ付接続コード ···························· 1
F型接栓プラグ ······································ 1
サービスネットワーク ······························ 1
取扱説明書 ··· 1
保証書 ··· 1

●上記の仕様および外観は改良のため予告なく変更することがあります.

選局スイッチメモ

FM+AM 8

選局スイッチ	1	2	3	4	5	6	7	8
放送局名								
放送周波数								

FM8/AM8

	選局スイッチ	1	2	3	4	5	6	7	8
FM	放送局名								
	放送周波数	MHz	MHz	MHz	MHz	MHz	MHz	MHz	MHz
AM	放送局名								
	放送周波数	kHz	kHz	kHz	kHz	kHz	kHz	kHz	kHz

パイオニア株式会社 〒153 東京都目黒区目黒1丁目4番1号

<83A06F5D06> <ARA-239-0>